

事務事業名	ビーチバレー大会開催関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	06	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	国内ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸において開催されるビーチバレー国内最高峰の大会「ビーチバレージャパン」及び中学生の全国大会と県大会を開催するにあたり、各大会事業費の一部を負担するもの。						
事業目的及び必要性	湘南の地からビーチバレーの普及推進を図るため、地域特性を生かした生涯スポーツとして「ビーチバレージャパン」を鶴沼海岸で開催し、市民に「観るスポーツ」の機会を広く提供する。また、競技人口の底辺を拡大するために中学生大会を開催する。鶴沼海岸をビーチバレー発祥の地として普及推進を図るうえで、継続的な開催が必要である。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべてのビーチバレー大会が中止となった。						
対象	4. その他	大会参加チーム及び市民				約	16,000 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益財団法人日本バレーボール協会 等)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						

藤沢市市政運営の総合指針2020		その他の計画との関連
重点施策名	指針体系コード	
ビーチバレー大会開催関係費	2-1-31	本事業は「藤沢市スポーツ推進計画(みらいふじさわスポーツ元気プラン)」

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」				
市民意識調査における質問項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツ活動が充実していると感じますか	2.91 点	2.97 点	2.96 点	2.86 点
	点	点	点	点

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	0 千円		
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	負担金補助及び交付金	9,500 千円	第35回ビーチバレージャパン開催負担金 等
	9,500 千円		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	0.40	0.40	0.40	0.40 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00 人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	0.40 人工	0.40 人工	0.40 人工	0.40 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				0.00 人
---------------	--	--	--	--------

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第34回ビーチバレージャパン ・第14回神奈川県中学生ビーチバレー大会 ・第11回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会 ※上記3大会について、新型コロナウイルス感染症の影響から開催中止																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビーチバレージャパン観客数</td> <td>人</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数</td> <td>チーム</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数</td> <td>チーム</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	目標値	目標値	目標値	目標値	ビーチバレージャパン観客数	人	12,000	12,000	12,000	12,000		神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	60	60	60	60		全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	100	100	100	100
指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考																																
		目標値	目標値	目標値	目標値																																	
ビーチバレージャパン観客数	人	12,000	12,000	12,000	12,000																																	
神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	60	60	60	60																																	
全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	100	100	100	100																																	
成果目標	参考																																					
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビーチバレージャパン開催回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神奈川県中学生ビーチバレー大会開催回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全国中学生ビーチバレー大会開催回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	実績値	実績値	実績値	実績値	ビーチバレージャパン開催回数	回	1	1	1	0		神奈川県中学生ビーチバレー大会開催回数	回	1	1	1	0		全国中学生ビーチバレー大会開催回数	回	1	1	1	0	
	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			備考																													
			実績値	実績値	実績値	実績値																																
	ビーチバレージャパン開催回数	回	1	1	1	0																																
神奈川県中学生ビーチバレー大会開催回数	回	1	1	1	0																																	
全国中学生ビーチバレー大会開催回数	回	1	1	1	0																																	
成果実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビーチバレージャパン観客数</td> <td>人</td> <td>13,910</td> <td>12,900</td> <td>13,300</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数</td> <td>チーム</td> <td>86</td> <td>82</td> <td>83</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数</td> <td>チーム</td> <td>102</td> <td>103</td> <td>109</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 数値で表せない効果						指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	実績値	実績値	実績値	実績値	ビーチバレージャパン観客数	人	13,910	12,900	13,300	0		神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	86	82	83	0		全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	102	103	109	0	
	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			備考																													
			実績値	実績値	実績値	実績値																																
	ビーチバレージャパン観客数	人	13,910	12,900	13,300	0																																
神奈川県中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	86	82	83	0																																	
全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数	チーム	102	103	109	0																																	

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	14,766	14,812	14,266	3,655	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,867	14,855	14,263	3,656	
	事業費(支出済額)	11,000	11,000	10,376	0	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	3,867	3,855	3,887	3,656	
	①常時勤務職員等の給与等	3,688	3,667	3,656	3,440	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0	
	③退職金相当額	179	188	231	216	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-101	-43	3	-1	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-101	-43	3	-1	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	3,000	3,000	3,000	0	
(3)現金を伴う収入 (千円)	3,000	3,000	3,000	0		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他(諸収入)	3,000	3,000	3,000	0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	11,766	11,812	11,266	3,655		
分析指標	項目	全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数 F	102	103	109	0
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		144,764.71	143,805.83	130,880.73	-
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		27.52 427,501	27.51 429,317	26.01 433,060	8.40 435,121
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	昨年より参加チームは増加したが、まだ全都道府県からの参加が得られていない。また、「観るスポーツ」としてのビーチバレーの価値が薄れ、ビーチバレージャパンの観客数も伸び悩んでいる。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	これまで参加のない都道府県のバレーボール協会と連携を図り、積極的な事業周知と参加案内を働きかけていくことや、大会開催中における集客のためのサブイベント等の実施について実行委員会内で検討する予定だったが、大会の開催中止が早期に決定され実行委員会が行われなかったため、検討できなかった。これらの課題については、令和3年度以降に引き続き検討していく。
(3) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度は予定していた3大会全てが中止となった。今後は、大会を実施していく上で必須となる感染防止対策を講じた運営方法を確立する必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	全国的な新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視し、感染防止対策と大会実施の両立に向けて大会実行委員会などの場で協議を重ねていく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和2年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
5. 補助金・負担金	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	本市は、国内ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸を有しており、その地域特性を生かし競技者が目標とするような大会を開催し、スポーツ活動の推進と地域の振興を図ることや、ビーチバレー競技の普及推進などが求められている。また、今後は事業を実施する上で感染症対策が必須となることから、参加者・観戦者にとって「安全・安心な大会であること」が求められていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校生大会(男子)は大阪府阪南市で、全国高校生大会(女子)は愛媛県伊予市で開催されている。 ・中学生を対象としたビーチバレー全国大会が開催されているのは、本市のみ。 	
市民ニーズ	把握方法	各大会の実行委員会を開催(各4回程度)する予定だったが、大会が中止となったため実行委員会も開催が見送られた。
	把握内容	いずれの実行委員会も開催されなかったため、運営等に関する意見の把握ができなかった。
	対応等	各大会ともコロナ禍での大会に何を求めているかなど、様々な機会を捉えニーズの把握に努めていく。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	令和2年度は、3大会とも新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったが、日本バレーボール協会をはじめ、関係者との協議を重ねた上で、のやむを得ない結果と捉えており、次回の大会実施に向けて今回の結果が生かされるものと考えている。	
	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸を会場としていることから、今後も継続してビーチバレージャパンを開催する中で、これまで以上に大会を盛り上げ、市民に価値のあるものとなるように改善し、「観るスポーツ」を提供していく。全国中学生大会については、引き続き全都道府県からの参加を目指し、また、トップアスリートによるビーチバレークリニック(講習会)等を継続的に開催し、ビーチバレーの魅力を楽しく指導いただき、競技人口を増やしていく。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
12	各種ビーチバレー大会の連絡調整に関すること(ジャパン大会,中学生大会)	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満,レベル2は10%以上30%未満,レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響,レベル2は部内への影響,レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	生涯スポーツ・レクリエーションの普及・推進を図ることを目的として設立された(公財)藤沢市みらい創造財団へ各種スポーツ関係事業を委託する。						
事業目的及び必要性	東京2020大会開催に向け、気運を高めるとともに、各種競技スポーツ並びにレクリエーション活動の普及・推進を図り、スポーツ事業・教室の開催を行うことを目的として、各業務を委託するもの。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (公財)藤沢市みらい創造財団)						
	(委託等内容 : 各種スポーツ事業開催等業務)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
(公財)藤沢市みらい創造財団事業関係費(オリンピック・パラリンピック関連事業費分)		2-1-21		本事業は藤沢市スポーツ推進計画(みらいふじさわスポーツ元気プラン)			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		1.78 点	2.00 点	2.34 点	1.88 点		
スポーツ活動が充実していると感じますか		2.91 点	2.97 点	2.96 点	2.86 点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	委託料	40,615 千円	スポーツ事業業務委託
	40,615 千円		
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	委託料	43,901 千円	スポーツ事業業務委託
	43,901 千円		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	0.60	0.60	0.60	0.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00 人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	0.60 人工	0.60 人工	0.60 人工	0.50 人工
会計年度任用職員(配置数)				0.00 人

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> ふじさわセーリングフェスタ2020in江の島の開催・・・参加者20名 ふじさわパラスポーツフェスタ2020・・・新型コロナウイルス感染症の影響から中止 おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2020・・・新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン事業として実施 ビーチ・マリンスポーツ推進関連業務・・・ビーチ・マリンスポーツの参加型イベント及び各教室の開催 ビーチレクリエーションゾーン利用実績・・・ビーチバレー 7,058人 ビーチテニス 2,810人 小学生体力テスト測定員の派遣・・・新型コロナウイルス感染症の影響から派遣なし 藤沢市駅伝競走大会の開催・・・新型コロナウイルス感染症の影響から中止 スポーツ推進及び施設利用促進広報業務・・・湘南国際マラソン実行委員会、湘南藤沢市民マラソン実行委員会等 							
	成果 目標	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
		ビーチレクリエーションゾーン施設利用者数	人	65,000	60,000	60,000	60,000	
		体力テスト測定員派遣人数	人	1,000	1,000	1,000	1,000	
ふじさわセーリングフェスタin江の島		人	100	150	150	150		
参考								
活動 実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考	
	事業数	事業	8	15	15	5		
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考	
	ビーチレクリエーションゾーン施設利用者数	人	58,942	54,504	67,589	9,868		
	体力テスト測定員派遣人数	人	988	995	829	0		
	ふじさわセーリングフェスタin江の島	人	80	138	139	20		
数値で表せない効果								

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	44,367	48,662	50,122	44,883			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	44,518	48,727	50,116	45,187			
	事業費(支出済額)	38,718	42,945	44,284	40,615			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,800	5,782	5,832	4,572			
	①常時勤務職員等の給与等	5,531	5,500	5,485	4,301			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	269	282	347	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-151	-65	6	-304			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-151	-65	6	-304			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
	行政収益(事業収入) B	5,914	7,321	7,303	4,553			
(3)現金を伴う収入 (千円)	5,914	7,321	7,303	4,553				
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0				
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0				
③国庫支出金	0	0	0	0				
④県支出金	5,914	7,321	7,303	4,553				
⑤その他()	0	0	0	0				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額	0	0	0	0				
収支差額(純費用)A-B E	38,453	41,341	42,819	40,330				
分析 指標	項目	学校新体カテスト測定員派遣人数 F	988	995	829	0		
			単位 人	単位 人	単位 人	単位 人		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	44,905.87	48,906.53	60,460.80	-			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	89.95	427,501	96.29	429,317	98.88	433,060	92.69
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会を来年に控え、セーリング競技の魅力を伝える事業「セーリングフェスタ」について、実施内容のより一層の充実化を図ること。 東京2020大会に向けた更なる気運醸成。また、大会後も継続して事業内容の検討をする。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	関係団体と連携を図り、東京2020大会の気運を高め、各種競技の普及推進を図る。
(3) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、東京2020大会の1年延期や各種スポーツ事業の中止など、スポーツの気運醸成に向けた取組について令和2年度はほとんど実施できなかったことから、市民のスポーツへの関心を高める取組や日常的な活動をサポートするための取組が十分行えなかった。
(4) (3)解決のための今後の取組	最新の全国的な感染状況を注視し、1年延期となった東京2020大会に向けて改めて気運醸成に繋がる事業を展開することや、各種スポーツ事業を感染症対策をした上で「安全・安心なスポーツイベント」として実施していく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<ul style="list-style-type: none"> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<ul style="list-style-type: none"> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの
	③ 事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和2年度支出済額	<ul style="list-style-type: none"> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
	(2) 財政的な特徴	⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合
	○	<ul style="list-style-type: none"> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
	⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<ul style="list-style-type: none"> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
	○	
	○	
	○	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	新型コロナウイルス感染症の影響から様々な活動が制限される中で、日常の運動機会の確保など市民のスポーツ活動に対する需要は高まっている。今後は、感染症対策を実施した上で「安全・安心な」スポーツ事業の実施やスポーツ施設の提供などが求められるてくる。	
他市等の事例	県内各市とも、昨年度からの経験値をもとに国や県の感染症対策ガイドラインに則り、徐々にスポーツ活動を再開し始めている。	
市民ニーズ	把握方法	スポーツ事業参加者等に対して、アンケート調査を実施している。
	把握内容	令和2年度については、実施できた事業数が例年と比較して少なかったが、実施できた事業については、継続開催を望む声などの好意的な評価が多かった。
	対応等	今後は、事業を実施する上で必須となってくる感染症対策を万全にし、どのような形で事業を実施できるのかを検討していく。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から軒並み事業が中止となった。そのような中においても、実施できた事業については参加者からの満足度も高く、市民から求められている事業であるとの再確認ができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	一部見直し
	新型コロナウイルス感染症の影響が収束の見えない中においても、心身の健康維持等の観点から、スポーツ・レクリエーション活動の機会を提供することは強く求められており、今後は感染症対策の実施と広く市民へ活動の機会を提供する。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
13	(公財)藤沢市みらい創造財団への委託事業に関すること	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------